

井手康人展—共鳴する祈り

IDE Yasuto : Resonating Prayers

2026年9月12日(土)～11月15日(日)



《山乃神》2021年 足立美術館蔵

【展覧会概要】

井手康人(1962- 北九州市出身)は、バリ島の伝統文化や宗教をモチーフに日本的感性を加えた幻想的で独自の世界観による絵画で頭角を現し、現在は日本美術院同人として活躍をする日本画家です。東京藝術大学の平山郁夫研究室で日本画を学び、1990年に再興第75回院展初入選を果たします。1994年にインドネシアのバリ島を訪れて同地の文化や宗教に魅了されて以降は、長年にわたって現地での取材を続け、鮮やかな色彩で女性や動植物を装飾的に描く作風を確立します。その後は再興院展で受賞を重ね、2006年には第12回天心記念茨城賞を受賞、2014年には同人に推挙され、現在では再興院展のみならず、日本画界の発展を担う作家の一人として精力的に作品発表を続けています。

本展では、再興院展で発表された数々の受賞作や大作を中心に、近年取り組んでいる富士山のシリーズを加えた最近作まで28点を一堂に展示します。また、長年のライフワークである教育普及活動にも着目し、北茨城市内の小学校で開催した出前授業の成果を展示するほか、美術教育の関連イベントも開催します。井手康人の画業に日本画制作と教育普及という二つの側面から迫る本展は、作家にとって過去最大規模の個展となります。

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711

E-mail: kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:永宮 勤士(ながみや きんじ) / 広報担当: 峠 綾乃(とうげ あやの)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)



当館HPへ

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

- 1 展覧会名 企画展「井手康人展—共鳴する祈り—」
- 2 会 期 令和8(2026)年9月12日[土]～11月15日[日]
休館日：毎週月曜日
※ただし、9月21日[月・祝]、10月12日[月・祝]は開館。9月24日[木]、10月13日[火]は休館
- 3 開館時間 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 4 会 場 茨城県天心記念五浦美術館
- 5 主 催 天心記念五浦美術館 井手康人展地域連携実行委員会
- 6 後 援 朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／産経新聞社水戸支局／東京新聞つくば支局／
毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／LuckyFM茨城放送
- 7 入 場 料 一般950(820)円/満70歳以上 470(410)円/高校生710(590)円/小中生360(240)円
※()内は、20名以上の団体料金
※土曜日は高校生以下無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等
をご持参の方および付き添いの方1名は無料
※9月15日[火]～21日[月・祝]は満70歳以上の方は無料
※11月13日[金]は茨城県民の日のため全ての方の入場料が無料
- 8 出品数 日本画28点
- 9 主な出品作品(制作年順)
 - ・「奏園」(2006年 再興第91回院展、第12回天心記念茨城賞) 茨城県近代美術館蔵
 - ・「百花^{ひゃっか}為^が誰^{たれ}開^{ひらく}」(2013年 再興第98回院展、日本美術院賞(大観賞)) 足立美術館蔵
 - ・「不二^{ふじ}」(2023年 再興第108回院展) 備前市美術館蔵
- 10 井手康人略歴
昭和37年(1962) 福岡県小倉市(現 北九州市)に生まれる
昭和62年(1987) 春の院展 初入選
昭和63年(1988) 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業(サロン・ド・プランタン賞受賞)
平成2年(1990) 再興第75回院展 初入選
平成5年(1993) 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程満期退学
平成19年(2007) 倉敷芸術科学大学教授となる
平成22年(2010) 第11回福武文化奨励賞受賞
平成27年(2015) 日本美術院同人推挙
令和2年(2020) 愛知県立芸術大学教授となる
令和3年(2021) 第54回北九州市民文化賞受賞
令和4年(2022) 第19回マルセンスポーツ文化賞 マルセン栄誉大賞受賞
令和8年(2026) 一般財団法人 日本芸術教育財団設立、理事長となる
現在 日本美術院同人、倉敷芸術科学大学客員教授
愛知県立芸術大学教授、備前市文化芸術振興財団理事
一般財団法人 日本芸術教育財団理事長、文化財保存修復学会正会員

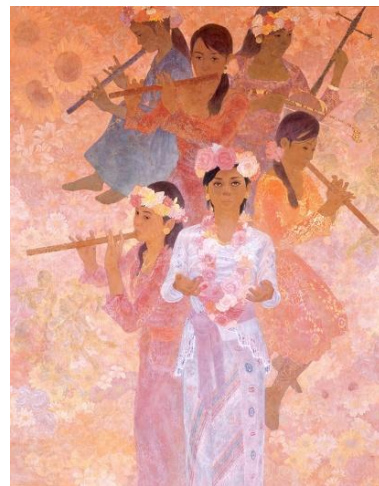
11 広報文

- (1) 井手康人は、インドネシア・バリ島の伝統文化や宗教をモチーフに日本的感性を加えた幻想的で独自の世界観による絵画で頭角を現し、現在は日本美術院同人として活躍する日本画家です。本展では、再興院展で発表された数々の受賞作や大作を中心に、近年取り組んでいる富士山のシリーズを加えた最近作まで28点を一堂に展示します。また、長年のライフワークである教育普及活動にも着目します。井手康人の画業に日本画制作と教育普及という二つの側面から迫る本展は、作家にとって過去最大規模の個展となります。(238字)
- (2) 井手康人は、2006年に第12回天心記念茨城賞を受賞後、現在、日本美術院同人として活躍をする日本画家です。本展では、インドネシアのバリ島に取材した代表作から近年取り組んでいる富士山のシリーズまでを一堂に展示するとともに、作家のライフワークである日本画の普及プログラムも紹介します。(140字)
- (3) 日本画家・井手康人の画業を紹介する本展は、インドネシアのバリ島に取材した代表作から近年取り組んでいる富士山のシリーズまでを一堂に展示します。作家にとって過去最大規模の個展です。(88字)

12 本展のみどころ

(1) 日本画家・井手康人の画業を代表作から最近作までを紹介する大規模個展

本展では、井手康人の初期の受賞作から日本美術院同人に推挙されて以降のバリ・ヒンドゥー教の神話にもとづく数々の大作が一堂に並びます。また、世界的なパンデミックをきっかけに、2021年より取り組んでいる富士山のシリーズにも焦点を当てます。東日本の美術館でまとめて作品を紹介する初の機会となり、作家にとって過去最大規模の個展となります。



《奏園》2006年
茨城県近代美術館蔵

(2) 天心記念茨城賞受賞作家の現況を紹介

茨城県は、1995（平成7）年より次代を担う画家の育成と日本美術の発展に寄与することを目的に、院展に対し「天心記念茨城賞」を提供しています。当館では、倉島重友展(2019年)、西田俊英展(2024年)等を開催し、同賞受賞作家のその後の活動を個展形式でご紹介してきました。本展は、第12回の同賞受賞作《奏園》をはじめ、同人になって以降の再興院展出品作を網羅するものとなり、画業の変遷から最新作の動向までを概観できます。

(3) 教育普及の関連イベントを開催

井手康人は、これまで美術教育の普及活動にも尽力し、大学機関で後進の育成に努めるほか、子どもを対象とした日本画実技ワークショップや講座などを継続的に開催してきました。本展では、今年6月に北茨城市立大津小学校で実施した日本画体験出前授業の成果展示を行うほか、美術教育の専門家によるシンポジウムを開催するなど関連イベントを実施し、井手のライフワークである教育普及活動を顕彰します。



北茨城市立大津小学校での集合写真

<北茨城市立大津小学校5年生日本画体験出前授業成果展示>

日時：9月12日[土]～11月15日[日]

会場：展望ギャラリー1 ※観覧無料

13 オープニングセレモニー・内覧会

- ・開会式 9月11日[金]午後3時～ 茨城県天心記念五浦美術館 企画展示室入口
- ・主催者挨拶、テープカット
- ・内覧会 午後3時30分～

14 会期中のイベント

(1) クロストーク「日本画の現在とこれから」

井手康人（出品作家）、倉島重友（日本美術院同人）による対談を行います。

日 時：10月18日[日] 午後1時30分～（約60分）

会 場：講堂

定 員：114名 ※要企画展入場券（半券可）、要事前申込

(2) 美術教育シンポジウム「美術は苦手？」

子供の頃、お絵描きが大好きだったのに、いつの間にか美術が苦手になってしまった経験はありませんか？多くの人が経験するこの不思議さの背景を、美術教育の専門家が語り合います。

登壇者：井手康人（出品作家）、藤原智也（愛知県立大学准教授）、
金子一夫（茨城大学名誉教授）、神野真吾（千葉大学大学院教授）

日 時：11月1日[日] 午後1時30分～（約120分）

会 場：講堂

定 員：110名 ※要企画展入場券（半券可）、要事前申込

(3) 作家によるギャラリートーク

井手康人（出品作家）が作品解説を行います。

日 時：9月12日[土]午後1時10分～（約40分）

10月18日[日]、11月1日[日]各日午前11時～（約40分）

会 場：企画展示室 ※要企画展当日入場券、申込不要

(4) 展覧会担当によるギャラリートーク

展覧会担当者が作品解説を行います。

日 時：9月26日[土]、10月4日[日] 各日午後1時10分～（約40分）

会 場：企画展示室 ※要企画展当日入場券、申込不要

(5) 来て・見て・発見！アートツアー for kids

日 時：10月10日[土] 午前10時～（約120分）

会 場：企画展示室、講座室

定 員：小中学生と保護者5組（1組4名まで） ※事前申込（先着順）、保護者のみ要企画展当日入場券

(6) トワイライトコンサート

出 演：藤枝麻里花（フルート）、佐伯日菜子（ピアノ）

日 時：10月3日[土] 午後5時～（約60分）

会 場：エントランスロビー

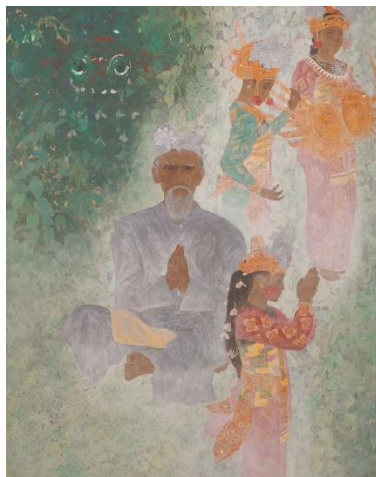
定 員：200名程度 ※要企画展入場券（半券可）、当日先着順

※本展の展示作品、展示会期、関連イベントの期日・内容等については、変更する場合があります。
最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。

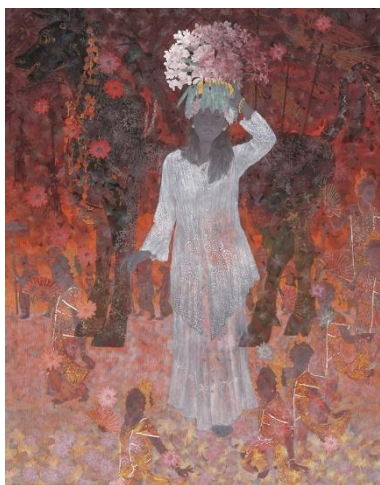
【広報用図版】 ※表紙および3ページの作品画像も提供可能です。



《神々の泉で》1996年 上野の森美術館蔵



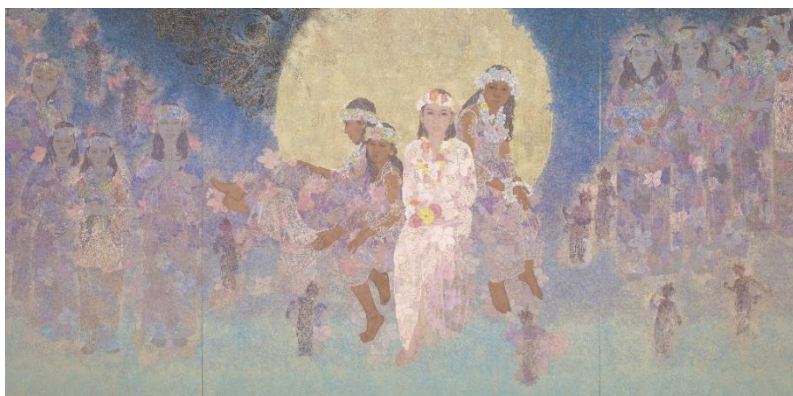
《精霊の森》
2002年 個人蔵



ひやつかたがためにひらく
《百花為誰開》
2013年
足立美術館蔵



ふじ
《不二》2022年 個人蔵



《月乃神》2024年 個人蔵

※図版使用に際しての注意

- ・ 展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用願います。
- ・ 図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・ 図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工はご遠慮ください。
- ・ 図版はデータでの提供となります。図版使用をご希望の場合は、広報担当までご連絡ください。